



令和7年度
CN/GX関連イベント集

近畿経済産業局
資源エネルギー環境部

関西発！ 水素・アンモニア社会 実現のための勉強会 (第5回関西水素産業交流ラウンジ)



概要

日時: 令和7年8月26日(火)14:00-16:30

形式: 対面のみ

会場: グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)

主催: 近畿経済産業局、一般社団法人日本産業機械工業会

登壇者: コンソーシアム4社

(株式会社IHI、関西電力株式会社、
三井化学株式会社、三井物産株式会社)

高石工業株式会社

株式会社福井製作所

(講演順)

結果

本勉強会では、水素・アンモニア分野で先進的な取組を推進する多様な企業が登壇し、最新動向と実践事例を共有しました。【第1部】では、サプライチェーン構築に向けた取り組みや水素・アンモニア関連技術などが紹介されました。【第2部】では、「水素・アンモニアビジネス交流ラウンジ」として、水素等関連産業への参入の背景や課題、今後の方向性について意見交換が行われ、多様な視点による議論が展開されました。また、その後の名刺交換会は参加者同士が積極的に交流を深める機会になりました。

参加者からの声



参加企業の技術力や挑戦する姿勢に触れ、水素・アンモニア分野の実践的な取り組みを知る貴重な機会となりました。多くの気づきと刺激を得られる有意義な内容でした。

参加者からの声

水素・アンモニアの最新動向やサプライチェーンの全体像を理解でき、非常に学びの多い時間でした。多様な視点からの質疑も活発で、業界全体の熱量を感じられる場でした。



開催目的

2050年のカーボンニュートラル実現に向け、関西地域での水素・アンモニア関連技術の社会実装を促進することを目的に、本勉強会を開催しました。また、単なる学びの場にとどまらず、参加者が自身のビジネスに活かすヒントを得られる場となることを目指しました。

当日の様子



【第2部】水素・アンモニアビジネス交流ラウンジ



名刺交換会

水素等関連産業の今を知り、
未来につながる関係者と出会う交流イベント

じっは、こんなものからできてんねんフェス

～RETHINK DESIGN EXPO～



体験と学びを通じて、サーキュラーエコノミーへの一歩を踏み出す

イベント概要

日時:令和7年9月24日(水)14:00-18:00

会場:大阪・関西万博会場内(EXPOメッセ「WASSE」)

内容:

大阪・関西万博の会場内にて、経済産業省主催イベント「サーキュラーエコノミー研究所」と連携し、体験型のワークショップを実施しました。

参加企業:(株)イワタ、甲子化学工業(株)、(株)ごみの学校、サラヤ(株)、日榮新化(株)、PHI(株)、(株)吉川国工業所

イベント結果

半日限りのイベントでしたが、300名を超える方が来場されました。親子連れのみならず、幅広い世代の方がものづくりワークショップを体験し、サーキュラーエコノミー(CE)の重要性を学んでいただきました。来場者からは、「必要なものを必要な分だけ買う」「捨てる前に他の使い道を考えるようにする」など、サーキュラーエコノミーに関する声が寄せられました。

来場者の声

- ・捨てるもので遊べる発見が新鮮
- ・考え方1つで、どんなものでも使い道がある
- ・必要なものを必要な分だけ買う
- ・物を大切につかおう
- ・借りれるものは、買わないことも選択肢に。



本イベントでは、Rethink Design プロジェクト
参画企業による、廃材などを使った、ものづくり
ワークショップやパネル展示を実施しました。子どもから大人まで幅広い世代の方に、ものづくりを通じてCEの重要性を楽しく体感し、学んでもらえる機会となりました。また、明日からできる行動を考えて、メッセージボードに掲示いただく参加型の企画も行いました。「ものの使い方や捨て方を見直せば(=Rethink)、新たな価値が生まれる」ということを体感することで、CEを意識した日常の行動をとるきっかけの場を提供することができました。



当日の様子



家電 リサイクル プラント 見学会

家電リサイクルの現場を体感し、
リサイクルの重要性を再認識する

イベント概要

日時:令和7年12月19日(金)14:00-16:00

形式:リアル

会場:関西リサイクルシステムズ株式会社 本社工場
(家電リサイクルプラント)

テーマ:家電リサイクルプラント見学、リサイクル制度の説明

協力:環境省 近畿地方環境事務所

京都府電機商業組合

家電メーカー

イベント結果

家電リサイクルプラント見学前には約3割の方が「高い」と感じていたリサイクル料金について、見学会後には「適正」「安い」と回答した方が96%にもなりました。参加者からは、リサイクルの重要性を実感したとの感想が多数寄せられました。

参加者の声

サイクルの大変さが分かった。大変な労働だと思います。一般の方、全ての方に見学して頂きたい。



参加者の声

改めてリサイクル作業の重要性を感じました。実際に工場見学をさせて頂きましたので、身近な人にも強く伝えることが出来ると思います。



J-クレジット ネットワーキング DAY



クレジットの創出者と購入者の
出会いの場を提供

イベント概要

日時：令和8年1月20日(火)14:00-17:10

形式：第一部のみハイブリット配信

第二部、第三部は対面

会場：QUINTBRIDGE

プログラム：第一部 マッチング参加団体による紹介ピッチ

第二部 マッチング会

第三部 名刺交換交流会

イベント結果

参加者は、マッチング参加者が13団体16名、
現地聴講者が18名、オンライン視聴者は60名
の計94名。アンケート結果では、第一部のピッ
チ、第二部以降のマッチング会ともに概ね高い
評価を得た。

参加者の声

クレジットの創出者と購入者が
直接交流出来るイベントは全国
的に見ても珍しいので引き続き
実施して欲しい。



J-クレジットの創出者と需要者、
及び両者を支援する機関のつな
がりを作ることで、J-クレジット
の流通促進だけでなく普及に向
けた機運を醸成することを目的
に、創出者・需要者・支援機関に
よるピッチとマッチングのイベン
トを実施した。

第二部のマッチング会はピッチ
に参加した団体が個別に交流出
来る場を提供し、第三部の名刺
交換交流会では現地聴講者も含
め参加者全員が自由に交流出来
る場を提供した。

第6回

関西水素産業 交流ラウンジ

～万博レガシーを活かす～
水素等の社会実装に向けたシンポジウム



水素等関連産業の今を知り、
未来につながる関係者と出会える交流イベント

概要

日時: 令和8年1月27日(火)13:30-16:30

形式: ハイブリッド(対面/オンライン)

会場: 関西経済連合会会議室294・295会議室

主催: 近畿経済産業局、共催: 公益社団法人関西経済連合会

登壇者: NTTアノードエナジー株式会社

パナソニック株式会社

株式会社エノア

大阪ガス株式会社

(講演順)

結果

本イベントでは、「万博レガシー×水素等の社会実装」をテーマに、2025年大阪・関西万博において、水素等関連技術の実証・実装を行った企業4社が登壇しました。

【第1部】では、万博で実施された水素等関連技術の実証や運用への取り組みなど、社会実装に向けた技術活用事例が紹介されました。【第2部】では、技術の社会実装に向けた期待や課題、今後の方向性について意見交換が行われ、幅広い視点から議論が展開されました。また、名刺交換会では参加者同士が積極的に交流し、新たな連携のきっかけとなる有意義な時間となりました。

参加者からの声



いつも興味深いテーマで参考になります。今後も最新の情報を提供いただきたいです。名刺交換でご挨拶できた企業・団体様があり、とても有意義な会となりました。

参加者からの声

頻繁な開催を希望します。昨今、様々な新エネルギー事業イベントが重複し、参加できないことも多いため、交流機会を増やしネットワーク構築を少しでも広げたいと思います。



開催目的

2025年大阪・関西万博で展示された水素等の技術を一過性のものに終わらせず、社会実装へ繋げるため、万博で活用された技術や取組の共有及び関係者間のネットワーク構築を目的に、イベントを開催しました。

当日の様子



【第1部】講演



【第2部】座談会

自治体向け サーキュラーエコ ノミーセミナー 2026

自治体向け
サーキュラーエコノミー
セミナー2026

開催
日時 2026年1月29日(水) 13:30 - 16:30

欧州をはじめ、日本の自治体でも取組が進みつつある「サーキュラーエコノミー（循環経済/CE）」。
「関心はあるけれど具体的な進め方がわからない」「挑戦したいけれど課題が多く進まない」
——そんな自治体職員の方に向けたセミナーです。
先進的な3自治体（福井県・滋賀県・京都市）による事例紹介、また3自治体を変えたグループディスカッションを実施します。
自治体間で課題や疑問を共有しながら、取組を進めるためのヒントを一緒に探しませんか？

プログラム（予定）

13:30～13:40	開会挨拶・概要説明
13:40～14:40	先進自治体による事例紹介（福井県・滋賀県・京都市）
14:55～16:25	グループディスカッション（自治体間で課題共有・意見交換）
16:30	閉会

開催場所 大宮合同庁舎1号館 本館3階 共創空間シロカフェ
定員 15名（※定員に達し次第、締め切りとさせていただきます）
対象 近畿管内の自治体職員
費用 無料
申込方法 以下URLよりお申込みください。
https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kansa01_form635
【申込期限：1月28日（水）】



【主催】近畿経済産業局
【協賛先】近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 環境・資源循環経済課
TEL：06-6966-4018
E-mail：tsf-kin-kanky@meti.go.jp



自治体のサーキュラーエコノミー移行
を進めるヒントを探る

イベント概要

日時：令和8年1月29日(木)13:30-16:30

形式：対面開催

プログラム：

- 開会挨拶+趣旨説明
- 先進自治体による事例紹介
福井県、滋賀県、京都市
- グループディスカッション

イベント結果

イベントには13名に参加いただきました。参加者からは、事例発表やグループディスカッションを通じて、企業連携の方法や自治体間の課題共有など、実務に役立つ新たな気づきが得られたとの声が多く寄せられました。

参加者の声

- ・ 実務的な話を聞けたので、大変参考になりました。
- ・ 直面する課題に即したグループディスカッションができ、来年度の予算要求に向けてためになった。
- ・ 企業との連携における手法や考え方について、先進事例紹介やディスカッションの中で様々な意見に触れることができ、新たな気づきが得られました。



欧州をはじめ、国内の自治体でも取組が進みつつある「サーキュラーエコノミー（循環経済/CE）」ですが、「具体的な進め方がわからない」といった意見が多く、実践段階で課題に直面しても対応策が分からず、取組が進まないケースも見受けられます。

本セミナーでは、他自治体の取組事例を通じて新たな気づき・課題解決のヒントを得ていただくとともに、自治体間の対話・意見交換を通じてネットワーク形成も促進し、近畿管内におけるCEの実装とサーキュラーシティの創出につなげることを目的として、3自治体の事例発表と自治体職員同士のグループディスカッションを実施しました。



グループディスカッションの様子

第21回 近畿地域 エネルギー・ 温暖化対策 推進会議



参加者同士のつながり作りの場を提供

イベント概要

日時: 令和8年1月29日(木)13:00-16:40

形式: 対面

会場: 大阪大学中之島センター10F

佐治敬三メモリアルホール(ホール3・4)

プログラム: 最近のエネルギー・温暖化対策の動向について

- ・資源エネルギー庁
- ・環境省

構成機関からの情報提供

- ・近畿農政局
- ・公益財団法人 地球環境産業技術研究機構
- ・パナソニック ホールディングス株式会社

ワークショップ



講演の様子(公益財団法人 地球環境産業技術研究機構)



ワークショップの様子

イベント結果

近畿地域エネルギー・温暖化対策推進会議の構成員31名が参加。CCSやペロブスカイト太陽電池の動向など最新技術の紹介に加えワークショップを実施。仮想のモデル地域の省エネ・脱炭素をどのように推進していくか議論した。



仮想のモデル地域(一部抜粋)

産業団地GX 実践フォーラム2026

～複数企業による省エネ・再エネ活用の勘所を紹介します～



産業団地GXの今とこれからを知り、
実践のヒントが得られるイベント

概要

日時: 令和8年2月6日(金)14:00-16:30

形式: ハイブリッド(対面/オンライン)

会場: TKP大阪御堂筋カンファレンスセンター

主催: 近畿経済産業局

登壇者: 石狩市役所

東急不動産株式会社

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社

株式会社福井銀行 (講演順)

結果

本フォーラムでは、全国で先行的にGX推進に取り組む4つの産業団地のキーパーソンが登壇し、現場で直面した課題や解決に向けた取組、今後の展望について紹介しました。【第1部】では、全国の産業団地におけるGXの動向や課題を整理し、実践のポイントを分かりやすく解説しました。【第2部】では、各地域の事例を通じて、省エネ・再エネ活用に向けた課題や工夫を共有しました。さらに、パネルディスカッションでは、GX推進のヒントや地域間連携の可能性について活発な意見交換が行われました。その後の名刺交換会では、参加者同士が積極的に交流を深めました。



実務者の具体的な話や各団地の事例が分かりやすく、今進めている案件のヒントを得ることができました。どの講演も先進的で、大変勉強になりました。

参加者からの声

参加者からの声

自治体・企業・金融機関など、それぞれの視点から課題や工夫が共有され、共通理念づくりやネットワークの大切さを改めて実感しました。非常に参考になるフォーラムでした。



開催目的

近畿経済産業局は、「GX2040ビジョン」で示された「GX産業立地」を推進するため、近畿地域・全国の産業団地におけるGX推進の取組の実態調査として、令和7年度「産業団地におけるGXの実践的手法調査事業」を実施いたしました。本イベントは、この調査事業の成果報告会として、開催いたしました。

当日の様子



【第2部】講演



【第2部】パネルディスカッション

海外水素等関連産業の市場状況・参入障壁理解促進セミナー

概要

日時:令和8年2月10日(金)13:30-16:25

形式:オンライン

主催:近畿経済産業局

登壇者:株式会社テクノバ

Hessen Trade & Invest

Environment Resources Management

Australian Hydrogen Council

独立行政法人日本貿易振興機関(ジェトロ)

テュフズードジャパン株式会社

つばめBHB株式会社

新コスモス電機株式会社

(講演順)

開催目的

本セミナーは、今年度実施している海外市場状況調査を通じて明らかになった情報を共有する場として実施しました。

当日は、海外水素等関係団体や、海外展開支援機関、認証機関、水素等関連企業にご登壇いただき、海外展開に向けた情報を得られる機会となりました。

当日の様子



録画講演の様子



オンライン配信の様子

オンライン限定開催! 参加無料

海外水素等関連産業の市場状況・参入障壁理解促進セミナー

2月10日(火曜日) 13:30~16:25 定員: 250名

近畿経済産業局では、水素等関連産業において、関与と海外展開の企業間の連携や技術協力・共同開発等の具体的なビジネス機会につなげていくことを目的に、海外市場状況調査を実施しています。このたびは、本調査を通じて明らかになった情報を共有する場として、海外水素等関連産業の市場状況・参入障壁理解促進セミナーを開催します。水素等関連産業の海外展開に向けた豊富な情報を得られる貴重な機会ですので、ぜひご参加ください!

登壇者

- <海外水素等関係団体> (独・英・豪の水素関係団体)
 - ・(独) Hessen Trade & Invest (HTAI)
 - ・(英) Environmental Resources Management (ERM)
 - ・(豪) Australian Hydrogen Council (AHC)
- <海外展開支援機関>
 - ・独立行政法人日本貿易振興機関(ジェトロ)
 - ・認証機関
 - ・テュフズードジャパン株式会社
- <水素等関連企業>
 - ・つばめBHB株式会社
 - ・新コスモス電機株式会社

対象 水素等関連産業に関心のある民間企業、自治体、支援機関、金融機関、大学・研究機関、報道機関等

開催形式 オンライン (Microsoft Teams)

申込み方法

以下のURL、または右のQRコードよりお申込みください!
<https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kansai01/form651>

申込み締切 2月6日(金曜日)17:00

主催 近畿経済産業局

結果

本セミナーでは、海外水素等関係団体・海外展開支援機関・認証機関・水素等関連企業による各講演を行いました。

各国と日本の今後の連携や、海外展開に向けた認証制度や支援制度、先行して海外展開を行っている企業の事例について紹介し、海外市場で注意すべき参入障壁の理解促進を提供する場となりました。



参加者からの声

日本企業の皆さまで、海外にて水素関連事業を検討するにあたり、どのような国が適しているのか、また各国においてどのような機関がどのようなサポートをしてくれるのか、初期のガイダンスとして大変情報に富んだセミナーであったと感じました。

サーキュラーエコノミー・ビジネス フォーラム

～作り手と販売・サービスの担い手が考える、循環価値の伝え方～

2026
2.13
13:30-17:00
開場：13:00～

サーキュラーエコノミー・ビジネスフォーラム
～作り手と販売・サービスの担い手が考える、循環価値の伝え方～

Circular Economy

ハイブリッド開催
（全場参加・オンライン併用）
※オンライン参加はZoomにて実施
※オンライン参加はZoomにて実施
※オンライン参加はZoomにて実施

開催形式
ハイブリッド開催
（全場参加・オンライン併用）
※オンライン参加はZoomにて実施
※オンライン参加はZoomにて実施
※オンライン参加はZoomにて実施

開催場所
舞台センタービル
〒600-8501
大阪市北区中津2丁目4-12

定員
20名（会場参加）
※オンライン参加は要員数にありません

費用
無料

プログラム

13:30-13:40 開会挨拶・趣意説明 13:40-13:50 イントロダクション	主催 環境省 経済産業省 国土交通省 農林水産省 消費者庁 資源循環推進部 資源循環課	協賛 経済産業省 国土交通省 農林水産省 消費者庁 資源循環推進部 資源循環課	パネリスト Onoda Economy Hub 代表 佐藤 浩二氏 サテライトデザイン株式会社 代表取締役 藤原 貴之氏
13:55-14:30 事例紹介	司会 環境省 資源循環推進部 資源循環課 佐藤 浩二氏	パネリスト Onoda Economy Hub 代表 佐藤 浩二氏 サテライトデザイン株式会社 代表取締役 藤原 貴之氏	パネリスト Onoda Economy Hub 代表 佐藤 浩二氏 サテライトデザイン株式会社 代表取締役 藤原 貴之氏
14:35-14:50 トークセッション	司会 環境省 資源循環推進部 資源循環課 佐藤 浩二氏	パネリスト Onoda Economy Hub 代表 佐藤 浩二氏 サテライトデザイン株式会社 代表取締役 藤原 貴之氏	パネリスト Onoda Economy Hub 代表 佐藤 浩二氏 サテライトデザイン株式会社 代表取締役 藤原 貴之氏
14:55-16:40 交流会【自由参加】	主催 環境省 資源循環推進部 資源循環課 佐藤 浩二氏	パネリスト Onoda Economy Hub 代表 佐藤 浩二氏 サテライトデザイン株式会社 代表取締役 藤原 貴之氏	パネリスト Onoda Economy Hub 代表 佐藤 浩二氏 サテライトデザイン株式会社 代表取締役 藤原 貴之氏
16:40-16:45 閉会挨拶	主催 環境省 資源循環推進部 資源循環課 佐藤 浩二氏	パネリスト Onoda Economy Hub 代表 佐藤 浩二氏 サテライトデザイン株式会社 代表取締役 藤原 貴之氏	パネリスト Onoda Economy Hub 代表 佐藤 浩二氏 サテライトデザイン株式会社 代表取締役 藤原 貴之氏
16:45-17:00 ネットワーキング	主催 環境省 資源循環推進部 資源循環課 佐藤 浩二氏	パネリスト Onoda Economy Hub 代表 佐藤 浩二氏 サテライトデザイン株式会社 代表取締役 藤原 貴之氏	パネリスト Onoda Economy Hub 代表 佐藤 浩二氏 サテライトデザイン株式会社 代表取締役 藤原 貴之氏

申込方法
申込フォームより申込書（お名前、メールアドレス）を提出してください。
【申込締切：2月12日（水）13時】

循環を生み出す仕組みと価値の伝え方を考える

イベント概要

日時：令和8年2月13日（金）13:30-17:00

形式：ハイブリッド開催（リアル/オンライン）

プログラム：

- 趣旨説明・イントロダクション
- 先進事業者による事例紹介・トークセッション
（株式会社斗々屋、JR西日本SC開発株式会社
GOOD NATURE HOTEL KYOTO、無印良品 イオン
モール橿原）
- 交流会
- ネットワーキング

イベント結果

イベントにはオンラインを含め47名に参加いただきました。セミナー後のアンケートでは、「大変良かった」「良かった」の回答が100%を占めました。

先進事例の紹介に加え、価値の伝え方に関する意見交換を通じた実践者どうしの交流の機会が大変意義深いものであったなどの声が多く寄せられました。

参加者の声

- ・循環価値とは異なる価値の訴求から、行動を促して、結果的に自然と循環の輪の一部になっている仕組みをつくるアプローチを学びました。
- ・実践的な取り組み事例を聞き、またその深掘をするトークセッションは大変勉強になりました。



本フォーラムは、サーキュラーエコノミー（CE）の実現に向けた取組「Rethink Design プロジェクト」の一環として実施いたしました。CEの実践者（販売・サービス関連事業者）による事例紹介に加え、販売・サービスの立場から、消費者に届けたいCEや資源循環の価値をどのように伝えているのか等コミュニケーションの手法について、お話を深めていただきました。

交流会では、参加者（製造事業者等）と登壇者で活発な意見交換がなされました。業界や業種の垣根を越えてノウハウを共有するネットワークの機会となりました。



交流会の様子

GX CROSS ROAD VOL.3



近畿管内の金融機関と省エネ支援機関
の連携強化の場を提供

イベント概要

日時: 令和8年2月25日(水)14:30-17:10

形式: 対面

会場: リファレンス大阪駅第4ビル貸会議室 2307AB

プログラム: 先進機関の事例紹介、トークセッション

- ・株式会社十六銀行
- ・株式会社スターメンテナンスサポート

国の支援策説明

ワークショップ

地域の中小企業の省エネを面的に推進するために、近畿局では金融機関と省エネ支援機関の交流イベントを定期的
に開催。今回が3回目の実施で
あり、ワークショップ等を通じ
て共創の土台作りを行った。



先進事例紹介の様子

イベント結果

参加者は省エネ支援機関が13名、金融機関
が19名、その他地方自治体等が12名の計44
名。アンケート結果では先進事例紹介、ワーク
ショップとも概ね高い評価を得た。

参加者の声

- ・金融機関、省エネ支援機関、自治体等のそれぞれの課題を共有出来て視野が広がった。
- ・引き続き、省エネ支援機関と金融機関がコミュニケーションを取れる機会を提供して欲しい。

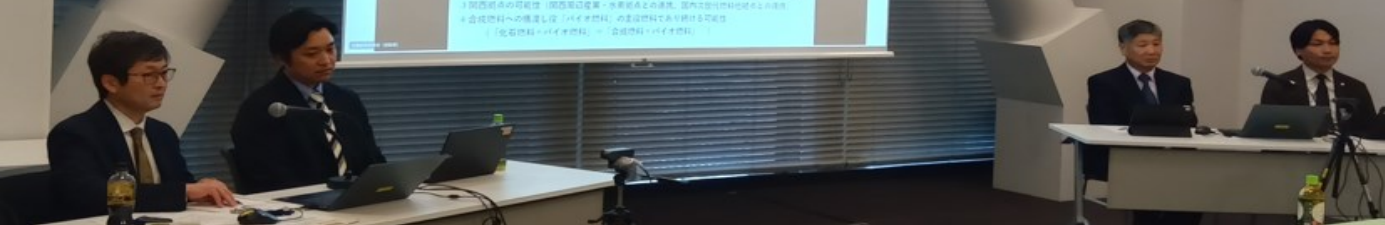


ワークショップの様子

関西次世代燃料フォーラム

NEXT 2026

～ バイオ燃料が橋渡しする次世代燃料への展望 ～



イベント概要

日時：令和8年3月10日(火)13:30～17:30

形式：ハイブリッド(リアル/オンライン)

会場：ナレッジキャピタルカンファレンスルーム C07
(グランフロント大阪 北館内(タワー C 8F))

主催：近畿経済産業局

協力：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) / 公益社団法人 石油学会 / 一般財団法人 カーボンニュートラル燃料技術センター (JPEC) / 石油連盟

登壇者：資源エネルギー庁、NEDO、ENEOS株式会社、次世代グリーンCO2燃料技術研究組合、株式会社レボインターナショナル、株式会社Eプラス、International Green Technology Japan、AC Biode株式会社

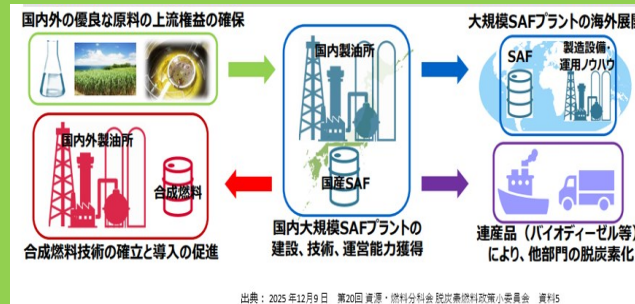
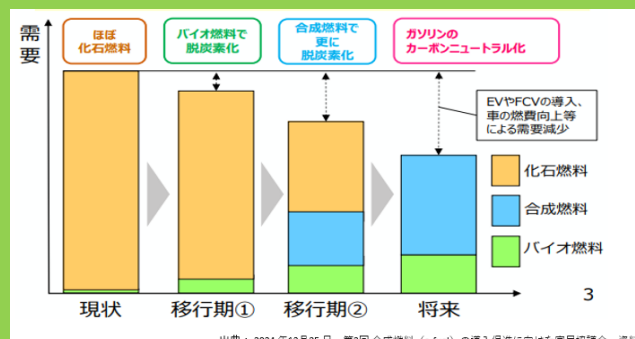
イベント結果

全国各地から、また多方面からお申し込みいただき、会場・オンライン併せて、約140名の方々にご参加いただきました。

本フォーラムでは、バイオディーゼル、バイオエタノールをはじめ、航空分野でのSAF(持続可能な航空燃料)及び合成燃料等の次世代燃料の最新動向や環境価値などの情報をご紹介しました。また、本編終了後、会場での名刺交換会では、登壇者・参加者を交えた活発な交流が行われました。

今後の新たな事業共創につながる可能性に期待が高まりました。

パネルディスカッションにおいては、関西のトピックスも含め、燃料分野における万博レガシーの今後について、パネラーより、各者取組を交え、展望をご紹介いただきました。また、バイオ燃料の今後の役割及び重要性を改めて情報発信いただき、次世代燃料に対する理解促進・機運醸成につながるディスカッションとなりました。



加えて、燃料資源に関わるベンチャー企業3社(株式会社Eプラス、International Green Technology Japan、AC Biode株式会社)より、自社の取組などをご紹介いただき、最後に会場名刺交換会を実施いたしました。

日独水素 シンポジウム 2026



日独の水素最前線を知り、
未来につながる関係者と出会える交流イベント

概要

日時:令和8年3月13日(金)13:30-17:00

形式:対面のみ

会場:梅田スカイビル イーストタワー36階 スカイルーム1&2

主催:近畿経済産業局、ドイツ貿易・投資振興機関(GTAI)

登壇者:大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館

ドイツ貿易・投資振興機関(GTAI)

Hamburg Invest

H2Global Foundation

川崎重工業株式会社

株式会社堀場製作所

Cellform

(登壇順)

結果

本シンポジウムでは、ドイツの支援機関や企業に加え、関西圏の水素関連企業等が登壇し、それぞれの水素に関する最新の取組状況や国際連携に向けた考え方について紹介しました。講演では、今後の日独連携を進める上での具体的な展望や、水素分野における各国の強みなど、様々な情報共有が行われ、参加者の理解促進につながりました。また、全ての講演終了後には名刺交換会・ネットワーキングの時間を設け、登壇者と参加者、参加者同士の間で活発な意見交換が行われました。これにより、今後の連携機会の創出や新たなビジネス関係構築に向けた有意義な交流の場となりました。

参加者からの声

本日はありがとうございました。とても有意義な時間でした。引き続き、海外の産業・企業に関する情報提供・海外の産業を取り巻く法規制等の情報提供をお願いします。



開催目的

日本とドイツがそれぞれ強みを有する水素関連分野における最新の政策動向やプロジェクト、企業の取組を共有するとともに、関西とドイツ間の将来的なビジネス連携の可能性を探ることを目的として、本シンポジウムを開催しました。

当日の様子



講演(GTAI)



ネットワーキング